

4. 本市の目指すべき将来の方向

現在のところ人口減少ではないものの、将来人口推計によれば、平成37年（2025年）をピークに人口は減少局面に入っていくと見込んでいます。

社会増減については、現状で転入者が転出者を上回る傾向で推移しており、特に30～40歳代といった生産年齢人口の転入が多くなっています。

自然増減については、近年は死亡数が出生数を上回る自然減で推移しています。

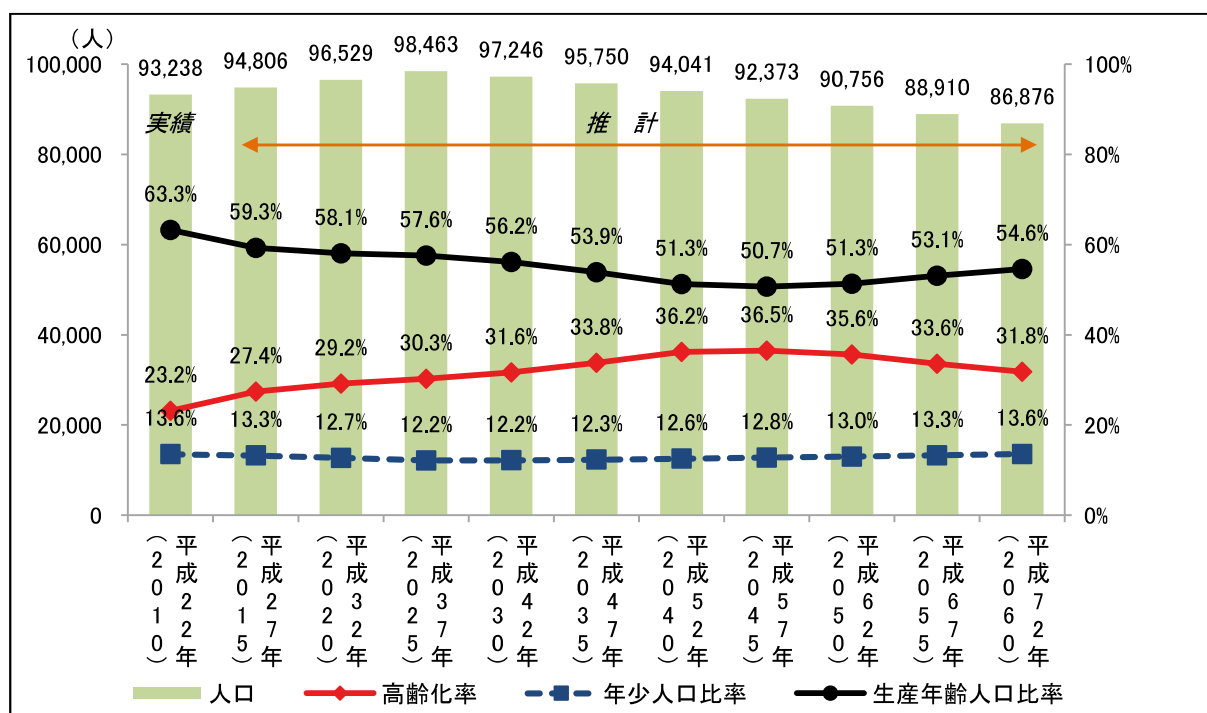
- ・将来の人口減少に歯止めをかけるためには、社会増、自然増の両面におけるアプローチが必要

○目標は平成72年（2060年）に86,000人以上

◆長期的目標〔～平成72年（2060年）〕

- ・出生数、社会増の状態を維持し、人口規模86,000人以上（H22年比△6.8%）を目指します。

図表 人口の将来推計（「出生数維持」及び「社会増」の場合）



(合計特殊出生率の設定)

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
総人口(人)	93,238	94,806	96,529	98,463	97,246	95,750	94,041	92,373	90,756	88,910	86,876
合計特殊出生率	1.32	1.37	1.52	1.60	1.64	1.63	1.61	1.60	1.62	1.65	1.68